

学校評議員会の実施報告書

岐阜県立東濃特別支援学校

学校長 伊藤 芳博

所在地 土岐市泉町河合根ノ上 1127-10 電話 0572-55-4821

1 会議の名称 第2回学校評議員会

2 会議の構成

[学校評議員] 50音順 敬称略

奥谷 高久 (東濃ワークキャンパス 主任生活支援員)

楓 陽光 (土岐織部ライオンズクラブ 第一副会長)

梶田 晶子 (指定障害福祉サービス事業所どんぐり工房 副施設長)

近藤 友香 (生活の木 アシスタントマネージャー)

永井 光正 (泉町河合区 区長) 【欠席】

[学校代表]

伊藤 芳博 (校長)

谷口 典子 (事務部長)

武市由紀子 (教頭)

山内久美子 (小学部主事)

坂田 俊広 (中学部主事)

大竹 陽平 (高等部主事)

梅村 和由 (教務主任)

河原 春恵 (進路支援部長)

3 会議の目的 学校運営について、地域住民の代表や有識者から幅広く意見を伺い、開かれた特色ある学校づくりをより一層推進する。

4 会議の開催 平成30年1月24日(水) 9:00~11:00 本校校長室

5 会議の概要

* 高等部清掃サービス班による接待

9:00~ 9:10 校長挨拶、日程説明

9:10~10:55 今年度の取組について

・小学部 (小学部主事より)

- ・ 中学部（中学部主事より）
- ・ 高等部（高等部主事より）
- ・ 事務部（事務部長より）
- ・ 教務部（教務主任より）
- ・ 進路支援部（進路支援部長より）

- 9：55～10：00 学校評価の結果報告
- 10：00～10：45 授業参観（高等部作業学習を中心として）
- 10：45～10：55 評議員から学校へのご意見
- 10：55～11：00 校長よりお礼

意見1 会議前に、高等部生徒の接客に驚いた。膝をついて目線を合わせて話す心遣いをしていたこと、部屋を出ていくとき、きちんとお辞儀ができていたこと等、細かいところまでできていて、本物であると感じた。

意見2 地域や高等学校との交流が盛んに行われ、社会とのつながりが積極的に作られており、大変いいことである。やり方も工夫されていて、さすがプロだと感じた。いい体験やいい経験が身になっていく。ぜひ続けてほしい。

意見3 児童生徒一人一人が落ち着いている。ニコニコして意欲的にやっている姿ばかりであった。教育の賜物だろう。卒業後、受け入れるにあたって、もっている力を発揮できる場を作る必要があると、痛切に感じた。

意見4 時代に合わせた教育課程の工夫をされ、情報教育や英語をしっかりとやってくただけでなく、いろいろな学習につなげて身に着けていけるようにするといった点がよい。

意見5 我々の会社でも、働き方改革等言われる中、労働者がやりがいをもって働くことは難しい。なかなか成長は見られない子達だと思うが、先生方は何をやりがいにして働いて見えるのか。

A：成長が少しずつだからこそ、その変容が楽しみでもあり、その成長を促すための手立ての工夫等がやりがいになっている。

意見6 昔の保護者は、自分の子どもの身辺自立を自分の手でやらなくてはいけないという思いで育てられ、ほとんどの子が自立できていたように思う。最近は、そこからスタートしなければならない利用者が増えている。そういったところを早期から保護者に働きかけてほしい。

A：身辺処理については個々の目標を決め、スモールステップで指導・支援している。今後は、今まで以上に家庭と連携し目標を共有しながら、自分のできるようにしていきたい。

6 会議のまとめ（お礼）

校長より いろいろなお褒めの言葉をいただきありがとうございました。今回のご意見を全職員で共有し、今後の教育活動に生かしていきたい。